

住友金属工業(株)のアルミニウム及び銅合金部門はその歴史と伝統におきまして住友系各工業の母体である許りでなく常に我国業界の先達として斯界に多大の貢献をして参りました。今回期する所あり之を分離独立致しまして本年9月住友軽金属工業株式会社を設立致しました。非鉄部門、特にアルミニウムの飛躍的發展を期して之に専念するために外なりません。

弊社の技術機関誌は昭和7年3月、当時の住友伸銅鋼管株式会社の時代に始まりまして今日まで通算85号を発行しその業績については些か学究的に偏するとの批判もありましたが、その内容の充実せる点と斯界の権威として占めてきた地位については自他ともに許すものがあつたと確信しております。新会社発足に当りましても過去の経験をもととし、更により実際的な資料を加えまして各位の御愛顧に応えんとするものであります。

思うに現代は技術改新の秋であります。実際ここ数年間に於ける世界工業技術の發展は誠に目覚しいものでありましてその業績は恐らく戦前50年間のそれに匹敵すると云つても過言ではありますまい。統計学の工業への応用、オートメーション、原子力、宇宙ロケット等どれ一つをとり上げて我々の夢想しなかつたものであります。斯る時代であります故に科学振興、工業技術並研究態勢の確立などは国策としても重要な問題でありませうが会社経営の点から考えましても戦前とは全然ちがった対策を持たねばならぬと思ひます。戦前は軍部、殊に海軍が機材の自給自足と云ふ信念の下に強力なる助成と統制を行い、之が我々の技術向上の原動力でありました。ところが今日では国家の助成は望むべくもありません、飽までも自己の力を根底とした自主的な方針の下に計画し、実施し、最短期間に最大の効果を生まねばなりません。又



景氣の変動を最小に喰いとめる一ツの手段は輸出であります、之とても常々世界的情勢を把握し、一流工業国に比肩する技術水準に達していなければ国際市場への進出は望めません。私は本誌を通じて当社が企図し開発した成果について率直に紹介し、又関連のある技術的情報を解説して内に向つては相互啓蒙の資料として己れの水準向上を図り、外に向つては広く各権威者の批判に應えんと同時に当社製品の優秀性を報告せんとするものであります。誌の編集は研究部に於て担当し執筆は技術関係の各部員が当りますが何れもそれぞれ多忙な業務の衝に立つ人達であります。内容や発行回数その他色々不備不満もありませうが上述の主旨を諒として御寛容あらん事をお願い致します。

社は発足早々清新の氣に満ちております、技術に携る人はもとより社全体の誰もが本誌を通じて技術を正しく理解し、社運の向上、ひいては国力の充実のために懸命の努力を重ねられるならば私の喜び之に過ぎるものではありません。所感の一端を述べて発刊の御挨拶と致します。